



広島北 ロータリークラブ週報

クラブ運営方針：愛と感謝と奉仕の心

国際ロータリー会長 ロン D. パートン 氏
国際ロータリーテーマ
ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を
ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

■会長 庄子 佳良 ■幹事 久保 豊年
事務局 広島市南区松原町 1-5 ホテルグランヴィア広島 6F
TEL 082-506-0050 FAX 082-506-2530
E-Mail:hnrc@world.ocn.ne.jp URL http://www.hnrc.jp/
例会 毎週木曜日 12:30 ホテルグランヴィア広島

■本日の例会 2013年7月25日(木) 第2142回
ロータリーソング 「それでこそローター」
来客紹介 ローター家族親睦委員会
会長時間
幹事報告
委員会報告等
ニコニコ箱
卓話時間 就任挨拶Part1 理事役員委員長

前回例報告 2013年7月18日(木) 第2141回

『沖田哲義ガバナー公式訪問』
ロータリーソング 「われら広島北ローター」
来客紹介 ローター家族親睦委員会
入会式
会長時間
幹事報告
委員会報告
ニコニコ箱
卓話時間 国際ローター第2710地区
ガバナー 沖田 哲義 氏

入会式



本日、3名の新会員を迎えました。
松田 宜久 会員(左端) (有)松田不動産 代表取締役
推薦者は栗屋会員と神農会員です。
小林 孝憲 会員(左から3番目) 男たちの美容外科 セネラルマネージャー 推薦者は山坂会員と久保豊年会員です。
藤田 省蔵 会員(左から4番目) 藤田工産(株) 代表取締役社長
推薦者は山坂会員と三保会員です。
皆さん一日も早くクラブに馴染んでローターライフを楽しんで下さい。

会長時間 会長 庄子 佳良

本日は、沖田哲義ガバナーによる公式訪問例会でございますが、沖田ガバナー、大和副代表幹事、小城ガバナー補佐、畠中ガバナー補佐幹事におかれましては、お忙しいところ、ご参会いただきまして誠にありがとうございます。心から歓迎申し上げます。
また、沖田ガバナーには、新会員の入会式にも華を添えていただき感謝申し上げます。本日入会されました、3名の会員の励みになるものと思っております。本当にありがとうございました。
さて、我々北RCの会員は、永遠のクラブテンションでございます「明るく調和のとれた居心地の良い楽しいクラブ」の運営を目指し、これに、クラブ運営方針の「愛と感謝と奉仕の心」を加えて、本年度一年間がんばってまいります。よろしくお祈りを申し上げます。
また、沖田ガバナー信条 奉仕活動を見直そう。「新しい奉仕活動への挑戦」ということを踏まえたローター活動にも取り組んでまいります。ガバナーには卓話の時間と、後ほどのフォーラムでも御指導をいただくことになっておりますので、よろしくお祈りを申し上げます、この辺で会長の時間を終えさせていただきますが、本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

幹事報告 幹事 久保 豊年

* 10月に下関で開催されます地区大会本登録のご案内をBOXにてお配りしています。回答期日は7月31日(水)です。
* 例会終了後、フォーラムを開催します。
* ガバナー略歴 (BOX配布)
* 地区大会本登録・回答書 (BOX配布)

委員会報告

プログラム委員会 岡部委員長
7/25・8/1就任挨拶についてのご案内をお送りいたしますので、よろしくお祈りいたします。
姉妹クラブ友好特別委員会 久永委員長
9月27日(金)京都において姉妹クラブ提携継続調印式が開催されます。ご案内をお送りいたしますので、多数ご出席をお願いいたします。
調印式終了後の観光では比叡山延暦寺を予定しております。普段拝観できない迎賓館や大書院をご案内して頂けるそうです。懇親会では延暦寺の精進料理を楽しめるそうです。特に入会5年未満の方には今後のお付き合いもごございますので、是非ご参加下さい。
社会奉仕委員会 合田委員長
7/27(土)に福島からの広島に避難している方々の会「アスチカ」の皆さんを宇品で開催される花火大会に招待することが決まりました。また、今年度新地区補助金事業として「広島いのちの電話」相談室に椅子やテーブルなどを寄贈するプロジェクトが承認されました。

ニコニコ箱

ニコニコ委員会

【来賓出宝】

沖田哲義がバナー、小城がバナー補佐よりそれぞれ大枚を頂戴しました。ありがとうございました。

広島南RC蔵田和樹様 藤田さん、ご入会おめでとうございます。同学同級にて大変うれしいです。

【自主出宝】

庄子会員・泉会員・久保(豊)会員・東会員・越智会員 沖田がバナー、本日は当クラブにお越しくださしまして、ありがとうございます。卓話並びにフォーラム、よろしくお願ひ申し上げます。

岩森会員 沖田がバナー殿、暑い中、公式訪問御苦労さまです。宜しくお願ひ申し上げます。

庄子会員・泉会員・久保(豊)会員・東会員・越智会員 藤田さん、小林さん、松田さん、入会おめでとうございます。みなさんの入会を心より歓迎します。

山坂会員◇ 本日、私の推薦した藤田さん、小林さんが入会されます。よろしくお願ひします。

三保会員・上河内会員・下前会員 藤田さん、ご入会おめでとうございます。

島本会員 藤田省蔵さん、ご入会おめでとうございます。楽しいロータリー生活を一緒に過ごしましょう。

神農会員 松田さん、入会おめでとうございます。一日も早くクラブに馴染んで頂き、親睦と奉仕にご活躍下さい。

山下江会員 松田さん、入会おめでとう。中小企業家同友会、能美島出身に加え、ロータリークラブでも楽しくお付き合い下さい。

佐々木会員 松田先輩、伝統ある北RCへのご入会おめでとうございます。今後ともよろしくお願ひ致します。どうか今度から可愛がって下さい。

↓ここからは未発表ニコニコです。

菅会員◇ 岩手県で行われた第11回全日本マスターズホケー大会で優勝しました。2ゴール、2アシストでした。

伊藤会員 先週連続出席を表彰して頂きありがとうございました。また、誕生日のお祝いも頂きありがとうございました。まだまだ半人前ですが、これからもご指導宜しくお願いします。

有志一同(水野・増田・土井・泉・塩本能尚・神農・中山・桑村・鈴木・石井・島本・山内) 7/14、前年度水野会長他執行部をはじめとする有志一同で、懇親ゴルフ並びに打ち上げBBQパーティーを楽しく開催させて頂きました。特に打ち上げBBQパーティーの会場を提供して下さいました石井会員並びにご家族の皆様には大変お世話になりました。御礼の意を込め、参加者全員で出宝します。

久保田会員 南RCの蔵田様、よくお出で下さいました。今日入会の藤田さんと同級生だそうで、ご縁を感じます。蔵田さんまたお出で下さい。

当日計 59,000円(内、web122,000円) 累計 174,000円

★=10,000円 ☆=5,000円 ◆=3,000円 ◇=2,000円



プログラム時間



国際ロータリー第2710地区

ガバナー 沖田 哲義 氏

皆さん、こんにちは。2013-2014年度、ガバナーの沖田哲義でございます。所属は、下関RCでございます。本日は広島北RCの皆さまに、温かくお迎えをいただきましたことを、まずもって衷心より御礼を申し上げます。特に岩森パストガバナーさんには、常日頃からいろいろご指導賜っております。この場をお借りして厚く御礼申し上げたいと思います。ありがとうございました。

さらに、本日は3名の新会員が誕生されたようでございます。入会おめでとうございます。今後素晴らしいロータリー人生を歩まれるよう、お祈り申し上げます。

さて私たちがガバナーには、地区内の各クラブへの公式訪問の際に、絶対に行わなければならないとされている義務があります。それが、RI会長の掲げられた、RIテーマおよび会長強調事項の伝達と、その解説であります。これはガバナーが当該地区における、RIの唯一の役員だからであります。

本年度のRI会長はロン D. パートンさんであります。会長の掲げられたRIテーマおよび会長強調事項は、次のとおりであります。

RIテーマについてであります。原文の英語では「Engage Rotary, Change Lives」となっております。公式の日本語訳では「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」となっております。これに私は「ロータリーを自分の中に取り込んで、皆さんの人生を変えなさい」という訳文を加えております。その理由は、パートン会長がサンディエゴにおける国際協議会の演説の中で「ロータリーの奉仕では、努力すればするほど多くを得ることができます。そして、何よりもあなた自身の人生が一番豊かになるはずですよ」と述べられ、またRI会長メッセージの中でも、同様のことを述べられているからであります。

さらに極めて重要なことですが、このRIテーマは、RIの第二標語である、アーサー・フレデリック・シェルトンが提唱しました「He Profits Most Who Serves Best」という、奉仕の実践理論と同じであるという点であります。

この点につきましては、本年5月16日に、この当広島におきまして、直接パートン会長から確認をしております。

その詳細につきましては、ガバナー月信の第1号に書いておりますので、ご高覧いただきたいというふうに思います。

そこで私は、このRIテーマを理解するためにも、地区内のロータリーの皆さまには、上記、第二標語を、もう一度しっかり勉強していただきたいと思っております。

ちなみに、この第二標語が、現代におけるローターの対外的な、対外的活動の重要な理論的支柱であることにつきましては、PE TSの際にもお話をいたしました。

次にRI会長強調事項についてであります。この事項は、以下のとおり三つあります。一つが「会員増強の推進」です。二つ目が「ローター財団を通じた人道的奉仕の充実」です。三つ目が「ローター・ファミリーを通じたネットワークの強化」です。そこで、以下、この三つの強調事項に関する必須事項につきまして申し上げます。

まず第一に「会員増強の推進」についてです。この必須項目としましては、入会希望者を増やし、会員を有することにより、7月1日から3月1日までの間に、会員を少なくとも1名純増させるということになっております。

第二に「ローター財団を通じた人道的奉仕の充実」についてです。この必須項目としましては、地元または海外で、少なくとも一つのローター重点分野に関連する、奉仕プロジェクトに参加することになっております。ちなみにローターの重点分野とは、次の六つの重点分野であります。一つ目が「平和と紛争予防／紛争解決」、二つ目が「疾病予防と治療」、三つ目が「水と衛生」、四つ目が「母子の健康」、五つ目が「基本的教育と識字率の向上」、最後が、六つ目ですが「経済と地域社会の発展」であります。この六つの重点分野は、ローター財団の四つの使命であります「健康状態の改善」、「教育への支援」、「貧困の救済」、「世界理解、親善、平和の達成」、これらを具体化したものです。RIもこの六つの重点分野を、奉仕活動の優先的な対象分野として決定した、と言われております。

第三に「ローター・ファミリーを通じたネットワークの強化」についてです。このローター・ファミリーとは、文字通りロータリアンの家族を含みますが、それ以外にもローターと関係する団体や個人など、全てを含みます。例えばインターア外、ローターア外、RCC、学友会などであります。この必須項目としては、以下のいずれか、または両方を達成することとされております。その一つが、全てのクラブ会員とその家族が参加する、親睦活動または奉仕活動を、少なくとも1回行うこと、二つ目が、地元地域の奉仕プロジェクトにおいて、ローター以外の団体と協力することです。ちなみに、このローター以外の団体とは、ローター・ファミリーの団体を含みます。以上がRIテーマとRI会長強調事項であります。

次に私の掲げました地区ガバナー信条、以下ガバナー信条と申し上げますが、信条とRIテーマとの関係を整理しておきます。私はガバナー信条として、以下のものを掲げました。「奉仕活動を見直そう」、「新しい奉仕活動への挑戦」であります。このガバナー信条は、昨年9月の段階で発表したものであります。したがって、サンディエゴでの国際協議会を待たずに発表したものであります。このように、極めて早い段階で発表した理由の一つには、私の年度が、ローター財団の「未来の夢計画」の実施年度に当たることが掲げられます。この実施年度という点につきましては、どなたがRIの会長に就任されようとも、変更できないことなのであります。しかも、この夢計画の運用いかんによっては、RIの奉仕活動が、将来的には革命的に変化する可能性があります。

そこで私は、従前の奉仕活動を見直し、RIの奉仕活動とローター財団の補助金活動を一体的、すなわち両者は切っても切り離せないこととして捉えた上で、外に向かったの対外的な奉仕活動を、力強く、かつ早急に前進させる必要があると思ひ、いち早くガバナー信条を定め、これに基づくガバナー指針を発表したのであります。

こうして私は、国際協議会に臨んだのであります。しかし、そこで発表されたバートン会長の先ほどのRIテーマは、私のガバナー信条とほとんど同じだと感じました。なぜならば、会長賞説明文の中には、前述のとおり「ローター財団を通じた人道的奉仕の充実」と述べられているからであります。これは、私の目指そうとしております、RIの奉仕活動とローター財団の補助金活動の一体化をも、意味しているものと思ひます。また挨拶文では「チャレンジ」、挑戦と述べられているからであります。

次に運営の重点についてであります。第一が、RIの奉仕活動とローター財団の補助金活動の一元化です。以下、両活動を総称して「ローター活動」と言ひます。この一元化の必要につきましては、すでに何度も述べておりますが、ローター財団に対するアレルギーを取り除き「未来の夢計画」を確実に遂行するためのものであります。

またこの一元化につきましては、次の三点を考えております。その一つが、意識面と組織面の一体化であります。この意識面と申すのは、ある事業を行う場合、その資金の出どころをクラブに求めるのか、あるいはローター財団に求めるのか、それとも全く違う第三者に求めるのかというように、奉仕活動と補助金活動の違いを、単なる財源の相違程度として、気楽に考えようじゃないかというものであります。また組織面と申すのは、ある事業を行う場合、常に、あるいはまた、必要に応じて、奉仕プロジェクト部門とローター財団部門が協同して企画をするという、柔軟な組織の構成であります。

二つ目が、従前のローター活動の分析と評価です。三つ目が、望ましいローター活動の研究と提言です。なお、今、述べました二つ目と三つ目につきましては、地区大会で発表する予定にしておりますので、ご期待をいただきたいと思ひます。このためにも、皆さま方におかれましては、さらに今後アンケート等をお出しします。これのご協力をお願いいたします。

そこで、地区大会のアピールをさせていただきます。私の年度は、懇親会、大懇親会を復活させます。料理も下関の名物であります、フグを用意します。33センチぐらいの皿なんです、それを四つ、1テーブルに並べます、真ん中にドンと置きます。けっこう見栄えが有りますし、ボリュームもあります。下関にはそのほかに、いろんな山海の珍味がございまして、ぜひご賞味いただきたいというふうに思ひます。お酒も、まあ広島ほどの銘酒はございませんが、そこそこのお酒が有りますので、お飲みをいただきたい、かように考えております。

さて本題に戻ります。第二が「未来の夢計画」の確実な実行です。第三が、会員増強、併せて「SAKUJI作戦」の遂行です。「SAKUJI作戦」とは「サクセス・ジャパン」という、正式名称の略称です。田中作次RI直前会長の名前を、もじったものです。簡単に言ひますと、地区内外を問わず、ロータリアン1人が、入会させたい1人を紹介するというものでございまして。現在、8万8,000人のロータリアンが日本には存在します。そうしますと、単純計算ですと、8万8,000人が新たに誕生することになります。これは、どっちかっていうと夢みたいな数字でございまして、まあ少しでも、一歩でも近づきたいというのが、この「SAKUJI作戦」だろうというふうに考えております。

第四が、各クラブおよび地区の、情報のデータベース化の研究とソーシャルメディアの活用です。現在、地区の事務局におきまして、やってもらいたいというふうに要望しておりますが、このデータベース化でございまして。

クラブ運営方針：愛と感謝と奉仕の心

これからいろいろ、われわれは奉仕活動をやります、対外的な奉仕活動をやりますが、その場合に地域のニーズをどういうふうにして掘り起こすのか、その掘り起こしたニーズをどうやってデータ化して、データベース化して利用するか、これを考えなければ、新地区補助金の十分な利用ができないというふうには私と考えておりますので、これをお願いしているわけでありまして。

第五が、地区大会を具体的なローター活動の研究発表の場とすることです。これは、先ほどのことです。第六が、職業奉仕の研究の深化と啓蒙活動であります。職業奉仕については、私もいろんな場面で書いておりますし、それから発表しております。職業奉仕の重要性ということ、もう一度皆さんでお考えいただきたいというものであります。

次に運営の具体的な目標についてであります。その第一が、会員増強です。要するに、純増1名ということでありまして。第二が、先ほどの「SAKUJI作戦」の遂行です。第三が、RI会長賞への挑戦です。第四が、ローター財団の支援であります。

このローター財団の支援について申し上げますと、その一つが、ポリオ・プラスへの支援であります。一人あたり5ドル以上という寄付をお願いするものであります。ちなみにローター財団では、セミナーでは、30ドルという要請が出ましたが、これはとうてい無理だというふうに判断しましたので、5ドル以上とさせていただきます。二つ目が、年次基金寄付であります。一人あたり150ドル以上というものであります。ちなみに昨年は120ドルでしたが、今年は30ドルアップさせていただきました。これは当地区のRRFCであります、松本茂太郎パスタガハナーの要請でもあります。三つ目が、恒久基金寄付であります。一人以上のベネファクターの誕生というものであります。四つ目が、ローターカードの協力です。これにつきましては、各クラブの担当者を決定していただきたいというふうを考えております。

第五が、米山記念奨学金の、奨学金、奨学会支援です。これにつきましては、寄付額を一人あたり1万6千円とさせていただきます。これは普通寄付と特別寄付を合わせたものですが、できれば普通寄付のみをお願いをしたいというところでありまして。

第六が、RI人頭分担金についてであります。これにつきましては、一人あたり53ドルとなっております。

第七が、地区負担金であります、地区関係の負担金であります。これにつきましては、一人あたり2万5,000円とさせていただきます。昨年は2万4,500円でしたが、今年は先ほど申し上げましたように、地区大会で大懇親会を復活させます。そこで誠に勝手なお願いですが、500円のアップをお願いすると、こういうところがございます、よろしく願いいたします。第八が、RI広報補助金の活用であります。以上が、私のガハナー信条等でありまして。

最後に、広島北RCの特色につきまして、私の感想を述べさせていただきます。まず初めに、庄子会長のスローガン「愛と感謝と奉仕の心」、素晴らしいスローガンだというふうに思います。RI会長のテーマを実現するために、こういうスローガンを掲げられたということがございますので、ぜひ実現をさせていただきたいというふうに思います。次にキー・クラブの現況でございます。なんといいましても、出席率の良さに感心をさせられます。この10年を取ってみても、最低が97.98%、最高が100%であります。しかも、100%へ、2年連続で達成されておられます。

この上で、あえて組織面および活動の面から、感想をさらに述べさせていただきます。

まず最初に組織面について申し上げます。CLPをしっかりと採用

され、確実な組織体制を作っておられます。特別委員会としては、姉妹クラブ友好特別委員会、これは京都伏見RCですか、それから奨学育英資金特別委員会、長期ビジョン検討委員会を設置されておられます。大変素晴らしいものだというふうに思います。

次に活動面についてであります。まず第一は、ローター財団の補助金を、十分上手にお使いになっているということでございます。社会奉仕や国際奉仕を、十分にこれで行われておられます。このうち社会奉仕活動につきましては、2005-2006年度に小児がんを経験した子どもたちのキャンプ、これはサニーピアキャンプと云うんですかね、その事業でございます。全体の事業費が99万6,000円余り、ローター財団の補助金を30万円獲得されておられます。また国際奉仕活動につきましては、2008-2009年度にマッチング・グラントとして、バングラデシュの小学校にスクールバス等を寄贈されております。資料を見ますと、全体の事業費が448万2,000円、ローター財団の補助金が293万4,000円となっております。また本年度は社会福祉法人「広島いのちの電話」相談室の、環境改善事業を行われる予定になっております。

次に新世代奉仕活動についてですが、高校生に一人あたり毎月1万5,000円の奨学金を、6名にお出しになっている点であります。しかもこれが、すでに30年継続されているということでございまして、大変に素晴らしい事業だというふうに思います。さらには、この2、3年ですか、東日本大震災への、被災者の支援事業を行われておられます。今年は先ほどのお話ですと「アスチカ」への支援事業ですか、これを行われるということでございます、大変素晴らしいものだというふうに思います。またローター財団や米山奨学会にも、十分な寄付をされておられますし、これらに関連する事業も数多くこなされておられます。本当に素晴らしい奉仕活動を行っておられるというふうに思います。

今後は、これらの社会奉仕活動、国際奉仕活動、新世代奉仕活動に引き続きまして、さらに新しいローター活動へ積極的に挑戦をしていただきたいというふうに思います。

以上でございます、ご清聴ありがとうございました。

■ 来客紹介 ローター-家族親睦委員会

沖田 哲義 様 (RI第2710地区ガハナー)

大和平八郎 様 (RI第2710地区副代表幹事)

小城 林勲 様 (RI第2710地区G6ガハナー補佐)

畠中 透 様 (G6ガハナー補佐幹事)

蔵田 和樹 様 (広島南)

于 廉吉 様 (米山奨学生)

■ 出席報告 出席委員会

2013年7月18日(金) 会員数 83名

出席 67名 欠席 16名

来賓 4名 来客 1名 ゲスト 1名

7月4日例会出席率 100%

※今年度より定款の変更があり、出席率の計算方法が変わりました。

■ 次回例会 2013年8月1日(木)

卓話 「就任挨拶Part2」 理事役員委員長

食事 幕の内